

「統合的・海域沿岸管理」 Integrated oceanic and coastal management

講師 清野 聡子（東京大学大学院総合文化研究科助手）

海と陸が接し多様な生物の生息地であり、漁業、運輸といった人間の利用が盛んな沿岸域は、これまで、「防災」・「海岸防護」といった人間の視点から開発・整備事業が展開されてきました。生物多様性条約では、早くから「統合的・海域沿岸管理」の原則を打ち出し、その採用を締約国に推進しています。

今回は、日本各地の沿岸で起きている自然保護問題や沿岸生態系の専門家である東京大学の清野聡子先生から話題提供を頂いて、日本の海岸・沿岸問題について議論する勉強会を開催します。

プログラム

- 1 . 18:40-20:00 話題提供 清野聡子（東京大学大学院総合文化研究科助手）
 - ・ 統合的沿岸域管理における生物多様性
 - ・ 現行の海洋関連法における生物多様性の取り扱いの現状と課題
 - ・ 海洋基本法の検討における生物多様性の導入の論点

- 2 . 20:00-20:30 質疑応答

この勉強会は、財団法人自然保護助成基金の支援を受けて開催されます。

配布資料

参考資料一覧

図 三番瀬とその周辺の行政的管理区域